



基本理念

相手の立場に立つ

令和7年10月発行

117号

協和中央病院グループ広報誌

はぐるま



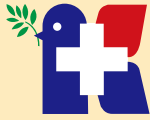
～心をひとつに、安心・笑顔のチーム医療～



目次

病院理念	2
雑感(協和中央病院 院長 長弘之)	2
新任医師紹介	2
健康医学管理センターからのお知らせ	3
看護部通信	4～5

定期的に骨密度の確認をしませんか?	6
当院を受診される皆様へ	6
茨城県救急医療功労者受賞	6
恒徳会だより	7
外来診察担当医表／編集後記	8



社会医療法人 恒貴会の基本理念

相手の立場に立つ

協和中央病院の理念

患者様の立場に立った医療の提供に努めます。

協和中央病院の基本方針

1. 患者様の人権と意思を尊重し、説明と同意に基づいた医療を提供します。
 - ・患者様には十分な説明を行い、安心して医療を受けられるよう努めます。
2. 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽します。
 - ・各職員が自己研鑽を積んで、より良き医療人になるべく努力します。
3. 地域の急性期医療に貢献する病院をめざします。
 - ・積極的に救急の患者様を受け入れます。
4. 地域の要望に応えられる医療を提供します。
 - ・介護・福祉施設と協力し、最適な医療を提供いたします。
 - ・退院後に在宅医療を必要とされる方には、引き続き支援を行います。
5. 健全経営を目指します。
 - ・各職員がコスト意識を持ち、無駄のない医療の提供に努めます。

患者様の権利

私たちは安心して医療を受けていただくために、説明と同意に基づく良質な医療の提供に努めます。患者様は次の権利を有します。

1. 適切な医療を受ける権利。
2. 自己決定の権利
(インフォームド・コンセント)。
3. 説明を受ける権利。
4. プライバシーの権利。
5. セカンドオピニオンを求める権利。
6. 尊厳をもって扱われる権利。
7. 診療録の開示を求める権利。

患者様の義務

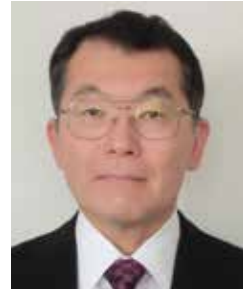
患者様には、より良い医療を受けるために以下の義務があります。

1. 正確な情報提供の義務。
2. 診療への協力の義務。
3. 他の患者様や医療従事者への配慮の義務。
4. 病院の規則遵守と費用の支払いの義務。

2025年4月1日改定

雑感

協和中央病院 院長 長 弘之



過去最高の暑さとなった今年の夏でしたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。外来の患者様のご様子を伺いますと、あまりの暑さに食欲低下や倦怠感を訴える方も少なくありませんでした。特にご高齢の方や戸外でのお仕事の方には大変な季節だったと思います。当院の入院患者数を見ましても夏と冬に多く、春・秋の過ごしやすい季節は少ない傾向です。日本も温帯から亜熱帯に近い天候となり、夏の過ごし方が健康維持に重要になってきています。

当院は8月末に日本医療機能評価機構の認定審査を受けました。平成17年に初めて認定を受けて以来5年ごとに審査を受けており、今回は5回目となります。外部機関の評価を受けることで、当院が全国標準に到達しているのか否か、認識を新たにすることは大変価値のあることだと思います。通常、外来受診された患者様が接するのは医師、看護師、受付の事務職員等ではないかと思いますが、病院の運営には多職種の連携が必要です。機構の評価は病院全体に及ぶもので、医療、検査、リハビリ、介護などばかりではなく病院の設備、経理、広報、他院との連携、医療や福祉の相談その他、非常に多岐にわたるものです。今回当院はおおむね良好な評価を得ることができたと思っております(評価機構の認定が出るのは数か月先になります)、改めて多職種の連携の重要性を認識し、陰に日向に頑張っている職員全員への感謝を感じています。職員一丸となって現状の問題点を解決しつつ、今後一層の改善につなげていければと考えています。

また、病気になった後の治療だけでなく予防も重要です。当院では健康医学管理センターにおいて人間ドック、脳ドックを行ってきましたが、今後は利用者様のニーズに合わせて検査のオプションを増やす計画です。当院の役割は地域の皆様の疾病の予防から治療、介護、生活支援まで一環として取り組んでいくことだと思っております。今後も地域の皆様に信頼される病院を目指して改善を続けてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新任医師紹介

協和中央病院 診療部 外科 藤田 剛



このたび9月から協和中央病院・外科に勤務することになりました藤田剛と申します。私は大阪府出身で高校卒業までは大阪で過ごしましたが、浜松医科大学に入学・卒業した後は静岡県内の関連病院で消化器外科の修練を積み、東京築地の国立がんセンター中央病院および栃木県立がんセンターで主に上部消化管(食道・胃)のがん外科診療に長年従事してまいりました。特に国立がんセンター中央病院ではレジデント制度というシステムで病院内に住み込み、食道・胃・大腸・泌尿器・呼吸器・肝胆膵・病理・放射線IVRといった一通りの科をローテートする中で同期20名ほどと切磋琢磨するという今では考えられないような濃密な時間を過ごしました。レジデントおよびチーフとして計6年従事した後、そのご縁で栃木県立がんセンターに10年間勤務させていただきました。

キャリアの大部分でがん医療という専門性が高い診療を行ってきましたが、一方で医師になった当初から描いていた、より地域に根差した全人的な医療に携わりたいという思いから初心に帰って研鑽を積む所存です。今後ともよろしくお願いいたします。

またがんに限らず、体調不良で病院を訪れる患者さんは身体的な問題と同時に病という得体の知れない未知の敵に対して不安な思いを抱えておられると思います。そのような時に専門的な知識をもとに少しでも不安を和らげ正しい治療につなげられるよう「患者さんファースト」を信条とし一歩ずつ進んでまいりたいと考えています。

近年の医療は科学の発展によって目覚ましい進歩を遂げていますが、どんな病でも早期発見が大切であることは変わりません。気になる消化器症状(食欲低下、飲み込みづらさ、腹痛、便秘など)がありましたらいつでもご相談ください。

健康医学管理センターからのお知らせ

センター長 種ヶ島 和洋

2025年4月より、健診センターが新しく生まれ変わりました。

それに伴い、来年4月をめどに本年度より少しずつオプション検査の拡充に努めています。より専門的な検査を通して、より精度の高い健診を行い、皆様の健康増進の一助になればと考えております。詳細はセンターにお問い合わせください。

健康医学管理センター

協和中央病院 新館4階

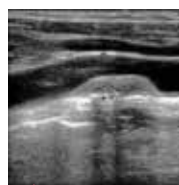
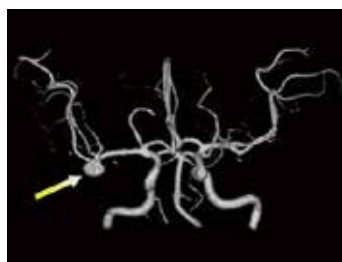
電話 0296-57-9959(直通)

脳MRI

多発脳梗塞



脳動脈瘤



頸動脈超音波検査

全身の動脈硬化を推定。プラークの厚みで脳梗塞のリスク判定。



肺CT

隠れた肺がん、肺気腫などの早期発見。

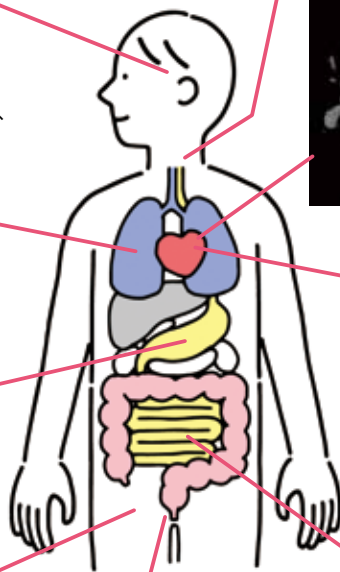


冠動脈石灰化スコア(CT)

数秒程度の検査時間で、心筋梗塞・狭心症のリスクを知ることができます。

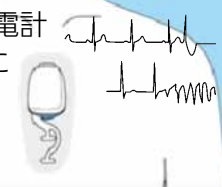


内視鏡検査



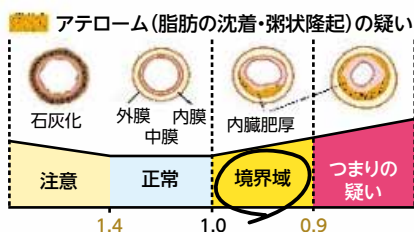
不整脈の検出(24時間心電計)

PHILIPS小型心電計 ePatchで手軽に検査できます→



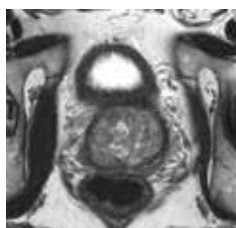
動脈硬化(血管年齢)検査

閉塞性動脈硬化症など、血管の硬さや狭窄(つまり)の程度を調べます。



前立腺MRI

前立腺肥大・がんの検出



内臓脂肪CT検査

高血圧、高脂血症、糖尿病などの原因となる隠れ肥満を発見します。



※その他の検査オプションとして、超悪玉コレステロール(動脈硬化)・HOMA(インスリン分泌能)・アディポネクチン(長寿ホルモン)・各種腫瘍マーカー・更年期ホルモンセット・各種アレルギー・甲状腺ホルモン・HPV(子宮頸がん)、骨密度/ビタミンD(骨粗鬆症)・MRI 検査(頸部血管、胸部・腹部大動脈、上腹部、子宮・卵巣、腰椎)等について、現在検討中です。

ユニホームを一新しました

協和中央病院 看護部長 高野 直江

当院では、今年度より看護師ユニホームをルコックブランドに一新しました。清潔感があり、動きやすく快適なデザインは、患者さんに安心していただけるだけでなく、働くスタッフの意欲向上にもつながっています。今回の導入にあたり、性別を問わず誰もが着やすいデザインを選びました。男性看護師も増える中で、誰もが自然に着られるユニホームを採用することは、多様な人材が活躍できる環境づくりの一環です。

また、今年度からは夜勤看護師専用のユニホームも導入しました。夜間も患者さんが安心して療養できるよう、スタッフの役割を分かりやすくし、勤務時間管理が促進され、チーム全体の連携強化を目指しています。

新しいユニホームは、単なる衣替えではなく「安心・信頼・多様性への配慮」を形にしたものです。協和中央病院はこれからも地域の皆様に寄り添い、誰にとっても頼れる病院であり続けます。



日勤看護師用



看護補助者用



夜勤看護師用

高校生一日看護体験

協和中央病院 新館2階病棟
看護師長 古谷 恭子

7/29、8/5に茨城県看護協会主催の高校生一日看護体験を開催しました。主に近隣の高校から23名の参加がありました。事前アンケートでは電子カルテ操作、バイタルサイン測定、食事援助の体験希望が多くありました。病棟ではそれらを体験し、患者さんとコミュニケーションを取ることができたことで徐々に緊張が解けて笑顔が見られるようになりました。また、病院の雰囲気を実際に感じ、看護師の関わりを自分の目で確かめることにより将来をイメージできたのではないのでしょうか。

今回の体験を通して、「看護師になりたい気持ちが高まった」という感想を聞き大変うれしく思いました。今後も看護職を目指す高校生の目標達成に向けて貢献できるよう取り組んでまいります。



食事援助



手術室見学



オリエンテーション



ガウン
テクニック

看護補助者研修を実施して

協和中央病院 南2階病棟
看護係長 宮山 絵吏

毎年7月に看護係長が中心となり、看護補助者研修を実施しています。この研修は、看護補助者が業務を遂行するために必要な知識と技術の習得を目的に行っております。

今回は、おむつ交換や陰部洗浄、ポジショニングの方法を外部講師より、また、食事の介助方法や感染対策を院内の認定看護師や専門の看護師より講義・演習をしていただきました。研修を通して、日々の業務での疑問や問題点を話し合い、解決しながらともに学びを深めることができました。

看護補助者は看護チームの一員として、質の高い看護を提供するために必要な知識・技術を習得し、看護師との協働の推進に取り組んでいます。研修を通して、協働の重要性を理解し、よりよいケアを患者さんに提供できるよう努力していきたいと思っています。



ポジショニング



食事時のポジショニング

看護の日

協和中央病院 北1階病棟
看護係長 大木 久子

5月12日はナイチンゲールの誕生日にちなみ「看護の日」と制定されており、全国的に看護の心を広く伝えるためのさまざまな活動が行われています。当院でも5月15日に外来待合室にて「看護の日」のイベントを開催しました。

今年は「なりたい自分になってやる」というテーマのもと、患者のいのちを守る看護師の仕事を写真で紹介し、血管年齢測定や唾液によるストレスチェック、看護の日キャラクターグッズの配布を行いました。当日は多くの方からたくさんの笑顔や励ましのお言葉をいただき、スタッフ一同大きな励みになりました。

このイベントを通して、地域の皆様が「看護の心」の理解を深め、生活習慣の見直しを意識する機会になったと思います。次年度の開催も予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。



看護師の仕事



血圧測定

茨城県看護協会通常総会で2名が表彰

令和7年度公益社団法人 茨城県看護協会通常総会(6月20日)にて表彰が行われました。



茨城県
看護協会長賞
受賞者

社会医療法人恒貴会 協和中央病院
看護管理室 看護師長
摂食・嚥下障害看護認定看護師
小河原 幸子



社会医療法人恒貴会
協和中央病院
南2階病棟 看護師長
三橋 真理子

訪問看護管理者25年 永年勤続表彰

令和7年7月16日(ハイアットリージェンシー東京)に行われた全国訪問看護事業協会の式典において、全国29名の中の一人として表彰を受けました。

社会医療法人恒貴会
訪問看護ステーション愛美園
所長 中島 由美子

定期的に骨密度の確認をしませんか？

協和中央病院 診療部
整形外科 部長 藤田 聡

骨粗鬆症(こつそしょうしょう)は骨折リスクが増大した状態で、WHOはその定義を「骨粗鬆症は、低骨量と骨組織の微細構造の異常を特徴とし、骨の脆弱性が増大し、骨折の危険性が増大する疾患」としています。つまり、骨粗鬆症は疾患であって骨折を生じる病的過程であり、骨折は結果として生じる合併症の一つと考えられています。骨粗鬆症の概念や診断基準も時代とともに変遷してきた経緯はありますが、現在、骨折を生じにくい「骨強度」を目指すにあたり、「骨強度」は骨密度と骨質の2つの要因からなり、骨密度は骨強度のほぼ70%を説明し、残りの30%程度は骨質により説明できるとされています。我々が簡易に測定定量化できるのは前者の骨密度となります。



健康増進法に基づく健康増進事業の一環として、自治体は骨粗鬆症検診を行っています。現在検診率は約5%だそうです。国が令和6年度より進めている「健康日本21(第三次)」において、令和14年度までに骨粗鬆症検診率



新たに導入した骨密度測定装置

15%の目標が掲げられています。骨粗鬆症検診受診率の向上が、未治療の骨粗鬆症患者の治療介入を促し、骨粗鬆症骨折患者の減少、健康寿命の延伸につながると考えられています。骨粗鬆症検診受診率が高い地域では大腿骨骨折罹患率が低く、要介護率も低くなる傾向があるという報告があります。

当院では2014年より、腰椎と大腿骨近位部(股関節周囲)での骨密度測定装置(DXA)による検査としておりましたが、このたび新しい測定装置を導入いたしました。検査時間も大幅に短縮(約5分)され、被ばく量も少ない検査です。皆様の担当医もしくは当科に相談してみてもいいのではないでしょうか。

当院を受診される皆様へ

協和中央病院 医療安全管理室
看護師長(専従リスクマネジャー) 鈴木 博乃

当院ではすべての患者さんとご家族が安心して医療を受けられる環境を守ることを最優先にしています。そのためには、職員と患者さん、ご家族の間において互いに「信頼」と「尊重」を持って接することが不可欠です。

しかし現実には、全国の医療機関では職員や他の患者さんに対する暴言や暴力、セクシャルハラスメント、過度な要求などの迷惑行為が後を絶ちません。こうした行為は、医療の安全を脅かすだけでなく、周囲の患者さんから安心を奪う重大な妨害行為です。当院はこのような行為を一切容認せず、毅然とした姿勢で対応いたします。

また、近年は院内での無断録音や撮影、SNSへの投稿が問題となっています。ちょっとした記録のつもりでも、そこには他の患者さんや職員の姿や声が含まれ、プライバシーを侵害する危険があります。当院では許可のない録音・録画・写真撮影、そしてSNS等への投稿を固く禁じています。

もし暴言・暴力や迷惑行為、無断での録音・録画・投稿が確認された場合には、診療を中止したり、警察に通報するなど、厳正に対応いたします。これは処罰を目的とするものではなく、すべての患者さんと職員の安全のために必要な措置です。

私たちは、誰もが安心して医療を受けられる環境を守り続けたいと考えています。互いに思いやりと尊重を持って接することが最も確かな医療安全につながります。



茨城県救急医療功労者として受賞

令和7年9月24日に県庁で行われた令和7年度茨城県救急医療功労者知事表彰式で、個人32名の一人として表彰を受けました。

社会医療法人恒貴会
大和クリニック
院長 木村 洋輔



桃香園

全国身体障害者施設協議会研究大会で発表しました

生活支援主任 石川 博康

9月11日(木)～12日(金)の日程で、当施設が加入する全国身体障害者施設協議会の研究大会が富山市で開催され、大会2日目の研究発表において、当施設がこれまで取り組んできた介護リフトを使用した移乗介助について「腰痛予防と移乗事故防止の取り組みについて」というテーマで発表を行いました。

導入した当時は、腰痛を抱える職員が多く、腰痛予防の観点から介護リフト等の福祉機器を導入した背景や、福祉機器定着を図るために工夫した点、福祉機器の導入により移乗による事故が減少した内容を中心に発表をいたしました。多くの方々にご聴講いただき、発表後には「参考にさせていただきます」といった温かいお言葉を多数頂戴し、当施設の腰痛予防に対する取り組みが広く関心を集めたことを実感いたしました。研究大会の2日間は、他施設での先進的な取り組みが数多く発表されており、とても勉強になりました。また、発表者の一人として大きな舞台での発表を経験できたことは、とても貴重な経験となりました。

今回得られた貴重な経験を今後の業務に活かし、引き続きご利用者の皆様に対して安全で質の高い介護支援の提供を目指して取り組んでまいります。



祝！敬老の日

恒幸園

生活介護主任 高松 香織

ようやく秋の気配を感じられる9月12日、入所、短期入所、デイサービスをご利用の皆様方と合同の敬老会を開催いたしました。デイサービスのご利用者様で100歳を迎えられた方が1名おられました。心よりご長寿と元気にお祝い申し上げます。

余興では、歌手の川澄歌織様、ピアノ演奏の石崎有美様をお迎えし、歌謡コンサートが行われ、古き良き日本の叙情歌や歌謡曲を、たくさん披露していただきました。懐かしさ



歌謡ショー



駄菓子コーナー

に手拍子しながら口ずさむ方、うっとり歌を聴き入る方、昔を思い出して涙ぐまれる方などさまざまな思いで楽しいひとときを過ごしました。最後にはご利用者様を代表してお礼の言葉と花束を贈呈しました。

昼食には、色とりどりのおかずに「わあ～すごいね」「きれいだね」といつもと違うメニューに笑顔がこぼれ、おいしそうにお祝弁当を召し上がっていただきました。これからもご利用者様のたくさんの笑顔が見られるよう、職員一丸となり盛り上げ、サポートしていきたいと思っております。

外来診療担当医表 令和7年10月

() 専門科目

診療科			月	火	水	木	金	土
脳外科	午前	1	(予約) 長	黒川	(予約) 黒川	(予約) 黒川	長	黒川
		2	三輪	長	松本	第2、第4 五味		長
	●土曜日の脳外科は予約と紹介患者様のみとさせていただきますのでご了承ください。							
外科	午前	1		佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤
		2	藤田	藤田	藤田	藤田	藤田	
		3	宮原	宮原	泉	宮原	宮原	
内科	午前	1	玉野	玉野	玉野	高村	海老澤 (漢方外来)	担当医
		2	正和 (循環器)	阿治部 (消化器)	木村	和久 (循環器)	磯田	種ヶ島
		3	福島	磯田	阿部田	福島	犀川 (内分泌内科)	(予約)新保 (循環器)
		5	岡田 (内分泌内科)	北川 (循環器)	磯田	阿治部 (消化器)	高村 (リウマチ)	
		7	小林 (呼吸器)	佐多 (呼吸器)		佐多 (呼吸器)	酒井	
	午後 (予約のみ)	1		北川 (循環器)		小笠原 (神経内科)	犀川 (内分泌内科)	
		2	大場 (循環器内科)					
		3	岡田 (内分泌内科)					
	●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。							
専門外来	午後			加藤(土) (漢方外来)				
小児科	午前	1	(予約) 中原	(予約) 長尾		(新患予約) 中原	(予約) 中原	自治医大交代制
		2		(予約) 中原				第1 (予約) 中原
	午後	1	(予約) 中原			(予約) 中原		
		2	河口					
整形外科	午前		藤田			藤田	萩原	第1、3、4、5 木村
●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金・土は大学診療のため時間前に受付終了となります。土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。								
皮膚科	午前			山口			原	
	午後			山口			原	
泌尿器科	午前		植松	別納		神原	植松	
	午後		植松				植松	
歯科 歯科口腔外科	午前 (土は午前のみ)	1	串田	串田	串田	串田	大谷津	串田
		2	大谷津	大谷津	大谷津	大谷津	土肥	自治医大交代制
		3	尾田	保坂	杉浦	保坂	保坂	保坂
		5			保坂	第1、3 仙名		
	午後	1	串田	串田	串田	串田	大谷津	
		2	大谷津	大谷津	杉浦	大谷津	土肥	
		3	尾田	保坂	保坂	保坂	保坂	
専門外来	午前	1	第3 野口				第1、3 森	

※受付時間《午前の部》

月・火・木・金 (7:30~11:30) 診療開始 9:00
水・土 (7:30~11:00) 診療開始 9:00
歯科・歯科口腔外科 (8:30~11:00) 診療開始 9:00

※水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。

※診察の際は、マイナンバーカードもしくは
保険証をご提出ください。

《午後の部》皮膚科・泌尿器科 (13:00~15:30) 診療開始 14:00

内科 (13:00~16:30) 診療開始 14:00

小児科 (14:00~16:30) 診療開始 14:30

*小児科(木)・中原医師予約 (13:00~16:30) 診療開始 14:00

歯科・歯科口腔外科 (13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話で
お問い合わせください。

安心が地域に根ざす 社会医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

協和中央病院

・脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科
・呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科
・小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科
・リハビリテーション科・麻酔科
・歯科・歯科口腔外科
茨城県筑西市門井1676番地1
電話0296-57-6131(代)
E-mail: kyowa@kokikai.com

療養病床

協和南病院

茨城県筑西市門井1674番地1
電話0296-57-5133(代)
E-mail: minami@kokikai.com

介護老人保健施設

協和ヘルシーセンター

茨城県筑西市門井1669番地2
電話0296-57-6030(代)
E-mail: healthy@kokikai.com

大和クリニック

茨城県桜川市大國玉2513番地12
電話0296-58-7788(代)
E-mail: yamato@kokikai.com

訪問看護ステーション

愛美園

茨城県桜川市大國玉2513番地12
電話0296-20-6780(代)
E-mail: aibien@kokikai.com



障害者支援施設

すみれ園

茨城県筑西市門井1677番地21
電話0296-57-5125(代)
E-mail: sumireen@kohtokukai.jp

障害者支援施設

堇授園

茨城県筑西市門井1687番地1
電話0296-57-3400(代)
E-mail: kinjyuen@kohtokukai.jp

障害者支援施設

桃香園

茨城県桜川市大國玉2513番地10
電話0296-58-7870(代)
E-mail: tohkaen@kohtokukai.jp

新型特別養護老人ホーム

恒幸園

茨城県筑西市向川澄98番地1
電話0296-57-7268(代)
E-mail: koukouen@kohtokukai.jp

人間ドック・企業健診

健康医学管理センター

茨城県筑西市門井1676番地1
(協和中央病院 新館4階)
電話0296-57-9959(直通)



編集後記

秋の深まりとともに街並みにも少しずつ
彩りを増してきました。実りの秋は食も運
動も楽しめる季節です。適度な運動は脳の
血流を促し、認知症予防や気分の安定にもつながる
といわれていますが、自分の脳の状態を正しく知るこ
とはなかなか難しいものです。脳ドックを受けること
で現在の脳の健康を確認し、運動習慣とあわせて生
活を整えていくことが、将来の安心につながります。
117号を発行するにあたり原稿を提供していただき
ました皆様、ありがとうございました。各部門の活動
を通して日々の努力の積み重ねを改めて共有いたしま
した。年度後半に向けて忙しさも増してきますが、歩
みを止めず少しずつ着実に進んでいければと思います。
(細谷)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者／黒川徳一

●編集委員／池田玲子 飯泉茂徳 杉田恵美子

細谷みゆき 高松紀平／飯田信宏 渡辺昌彦

〒309-1195 茨城県筑西市門井1676番地1 TEL.0296-57-6131

<https://www.kyowachuo.jp>